

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：澤村・西山]

TEL：0853-22-6772

FAX：0853-24-3342

令和4年度 病害虫発生予察情報 注意報第1号

令和4年7月15日

島 根 県

果樹を加害するカメムシ類の発生量が多く、かき、なし、すももなどで被害が発生する恐れがありますので注意報を発表します。現地では発生状況の把握に努めるとともに、発生園では適切な防除対策を講ずるよう指導をお願いします。

記

- 1 病害虫名 果樹カメムシ類
- 2 発生地域 県内かき、なし、すもも栽培地帯
- 3 発生時期 7月中旬～
- 4 発生量 やや多い
- 5 注意報発表の根拠
 - 1) 予察灯（出雲市）でのチャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシの4月～7月2半旬までの累積誘殺数は766頭（平年値362.4頭）と平年に比べてやや多く推移している。7月第3半旬（7月14日現在）の予察灯での3種カメムシ類の誘殺数は170頭（平年値78.5頭）と増加傾向にある（図1）。
 - 2) 予察灯における3種カメムシ類の4月～7月第2半旬までの種類別誘殺数はチャバネアオカメムシ560頭（平年値272.4頭）、クサギカメムシ141頭（平年値60.8頭）、ツヤアオカメムシ234頭（平年値92.8頭）とチャバネアオカメムシ（図2）とツヤアオカメムシの割合が高い（図3）。
 - 3) チャバネアオカメムシ集合フェロモンのトラップ（出雲市）の4月～7月第2半旬までの累積誘殺数は577頭（平年値301.6頭）と平年に比べてやや多い（図4）。
 - 4) 7月中旬の巡回調査ではかきでの被害果率は2.5%（平年値0.1%）とやや多く、今後かきや無袋栽培のなしなどで被害が発生する恐れがある。なお、有袋栽培のなしでも果実の肥大に伴い果実袋を通して加害される恐れがある。
 - 5) 1か月予報（7月14日広島地方気象台発表）によると、向こう1か月の気象は本種の発生を抑制する要因とはならず被害が増加する恐れがある。
 - 6) なし（無袋）の摘果作業はほぼ終わっている。かきでは摘果作業が行われているが、果実の被害の有無に注意する。
- 6 防除対策及び防除上の注意事項
 - 1) 山間地や山沿いの園ではカメムシ類の発生加害が多いので特に注意する。
 - 2) 薬剤の使用に当たっては、本県農作物病害虫雑草防除指針を遵守する。
 - 3) 最新の農薬登録情報は、農林水産省農薬登録情報提供システム (<https://pesticide.maff.go.jp/>) で確認する。

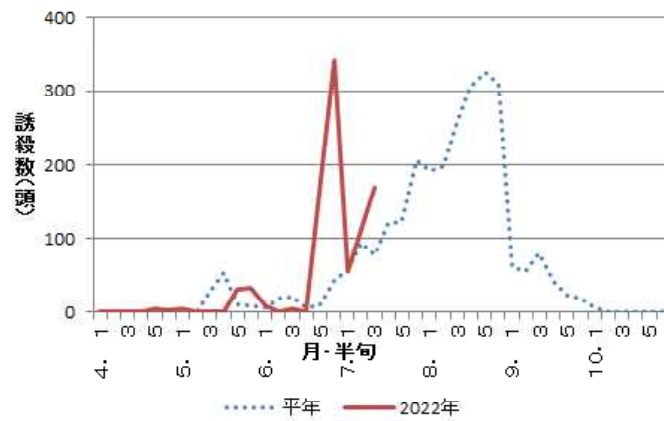


図1 予察灯における果樹カメムシ類3種の誘殺消長 (2022年)



図2 チャバネアオカメムシによる被害

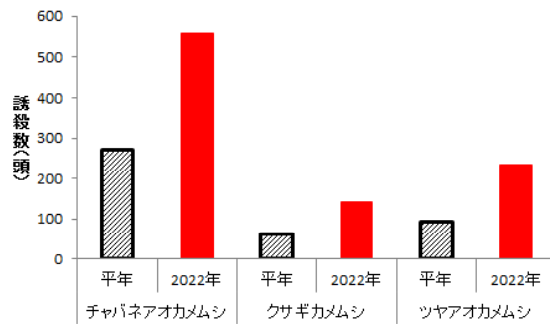


図3 果樹カメムシ類3種の種類別誘殺数 (4月第1半旬～7月第2半旬)

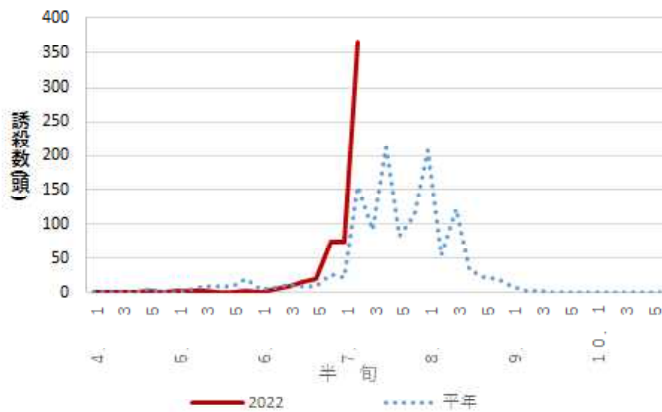


図4 チャバネアオカメムシ集合フェロモンにおける誘殺消長 (2022年)